

## 嘘でつくられた世論形成

2月21日、JR 総連榎本委員長と Y 君と N 君は、連合に J R 東労組の格差ベア根絶の方針について説明しに行きました。

Y 君は連合総合労働局長に対し「格差ベア根絶のためにたたかいます。しかし、若者にベアを厚くすることはそれは格差ではありません」と言ったところ、連合総合労働局長は首を傾げ、「そもそもあなた方は2012年にこの制度をつくった時に、なぜその議論をやっていたんですか。それはあなた方が問題ではないですか」「指名ストに対しては避けてください」と言われました。

しかし、N 君は「連合から賛同を得る！」と嘘の情報を出しました。

すぐさま、連合から J R 総連に抗議の電話があり、J R 総連は総合労働局長をはじめ、連合の仲間に謝罪にまわったところ「今後、そういうことのないように」と指摘されました。

連合が賛同しているという情報は意図的につくられた嘘だったのです。

<b>格差ベア永久根絶！</b> <b>18春闘勝利！</b>	2018年 2月22日
<b>中央闘争委員会情報</b>	No.5
	JR 東労組 中央闘争委員会

**格差ベア根絶！**  
**グループ間格差是正！**  
**連合から賛同を得る！**

中央闘争委員会は2月21日、連合本部・総合労働局を訪問し、18春闘における私たちのたたかいについて趣旨を説明し意見交換をおこないました。  
私たちの主張である「ベースアップをするなら格差をつけないでほしい」という内容については大きな賛同を得ると共に、下記の点でもご意見もいただきました！

- (1) 報道でストライキの戦術行使だけがクローズアップされているが、「ベースアップをするなら格差をつけないでほしい」という J R 東労組の主張は正しい。報道の仕方にギャップを感じる
- (2) J R 東日本が実施している「**所定昇給額**」をベアの算出基礎にする方法は、特殊な方法である
- (3) 連合方針に基づき「**グループの企業規模間格差是正**」にも是非取り組んでほしい
- (4) **脱退者が多く出ていることが非常に気になる**  
(脱退規模やどのような手法でやられているのかをとっても気にしていました)

**私たちのたたかいは連合からも大きな支援・賛同を得ています！**  
**18春闘勝利に向けて、組合員一丸となってたたかおう！**

「格差ベア根絶」という強大な要求を貫徹する組織的力量、会社との力関係、世論形成どれをとっても見誤ったと言えます。

J R 総連第34回定期大会の榎本執行委員長あいさつで18春闘の総括視点が提起されました。第1は、「格差ベア永久根絶」という要求が前進したのか。第2は、春闘を闘って組織が強化されたのか。第3は、次なる闘いの展望は切り拓かれたのかです。以上の3点を総括すると、18春闘の方針はことごとく頓挫していることが明らかになります。その点でも、18春闘の「格差ベア根絶」方針は間違いであったと言えます。